

ナンバリング	B②01	科目名	こどもと環境	担当教員	古賀琢也	
ディプロマポリシーとの関連性	①・②・③		担当形態	単独		
テキスト	文部科学省『幼稚園教育要領解説』(フレーベル館)		単位数 授業形態	1単位 演習	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの生活・遊び環境の変化と社会の変化を関連付けて説明できる。 ・こどもと環境との関わり方について専門的概念を用いて説明できる。 ・こどもにとっての身近な環境、事象をどのように捉えていくか自分なりに説明できる。 <p>■授業の概要</p> <p>こどもを取り巻く環境と現代的課題を踏まえ、こどもと身近な環境との関わりや内容ごとの知識・技能を学ぶとともに、領域「環境」の指導で必要となる感性・視点を養う。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 こどもを取り巻く環境と現代社会、その変化と課題 —社会・産業の変化、遊び環境の変化、身近な大人の変化</p> <p>第2回 こどもを取り巻く環境と現代社会、その変化と課題② —遊びの変化と求められる力の変化、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿</p> <p>第3回 環境に関わるこどもの力とその発達 —認知(模倣、表象、三項関係)、素朴理論、素朴生物学とその発達</p> <p>第4回 身近な自然との関わり①(環境への目線、視点) —感じる、おもしろがるということ、センス・オブ・ワンダー</p> <p>第5回 身近な自然との関わり②(身近な自然を感じる、そのための知識・技能) —飼育、栽培の基礎</p> <p>第6回 こどもと数量、図形、文字、標識</p> <p>第7回 こどもと施設、情報、地域文化</p> <p>第8回 まとめ</p> <p>期末試験</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に際し指定された資料がある場合はこれを読み、考えをまとめてくること。 ・身近な環境、身近な事象に自分なりに興味を持ち、気づくことをおもしろがること。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各回の小課題 —20% ・発表・積極性 —20% ・レポート —30% ・期末試験 —30% 						
参考文献	「保育所保育指針解説」 「幼保連携認定こども園教育・保育要領解説」等		特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義形式であるが、議論等を行う予定もある。授業への積極的な参加を期待する。 ・必要に応じて学内でのフィールドを用いて授業を行う。適宜、服装を調整して授業に臨むこと。 【課題等へのフィードバック方法】 ・レポートにはコメント等を加えて返却します。 ・試験は模範解答を示し、解説を行う。 		
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修		幼保	領域及び保育内容の指導法に関する科目・環境 保育の内容・方法に関する科目		
実務経験のある教員等による授業内容	保育所、認定こども園での勤務経験を活かし、実際の課題やその解決への取り組みの方法、また、その際の問題点などに触れ、より実践的な授業を行う。					